鎌ケ谷クロスフィールド

かまクロ

発行：鎌ケ谷市市民活動推進センター　発行月：平成２８年７月 No.36

鎌ケ谷クロスフィールド

かまクロとは？！

鎌ケ谷市は４つの鉄道路線が乗り入れ、交差する「人と文化の交流拠点」として日々発展を続けるまちであり、自治会、市民公益活動団体、企業、行政など鎌ケ谷にある様々な組織が、その垣根を越えて“縁”を「クロス」 - 交差 - するという思いを込めています。

健康体操

ー　笑顔いっぱいシルバー元気会の活動の様子　ー

本市の市民活動支援補助金制度を活用し、市と協働で健康体操を実施しています。
平成２８年度は当団体の他、「鎌ケ谷スマートエイジング」、「一般社団法人鎌ケ谷青年会議所」が本制度を活用して事業を実施します。

Contents

◆「かまクロ」とは?!/ 笑顔いっぱいシルバー元気会（写真紹介）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
◆かまがや地域づくりコーディネーター2015 実施報告・・・・・・・・・・・・・・・・P2・P3・P4
◆鎌ケ谷市市民提案協働モデル事業実施報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5
◆コラム「熊本地震をとおして」/センター利用案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6

やがて故郷に変わる街 鎌ケ谷

かまがや地域づくりコーディネーター養成講座２０１５を実施いたしました！

●地域づくりコーディネーターってなんだろう？

輝く人がいるから、まちが輝く。まちづくりに必要なのは、確かな知識と行動力です。
地域づくりコーディネーターとは、地域の課題や魅力を「見つけて」、「聞く」ことや、さまざまな人々を「つなぐ」橋渡し役となるなど、市民活動をサポートする人材です。
そのような市民活動を支える人材を育成するため、昨年度の１０月２５日（日）に「かまがや地域づくりコーディネーター養成講座２０１５」を開講しました。
今号では、ＳＴＥＰ３から最終回であるＳＴＥＰ５の講座を振り返り、これまでに学んだことを再確認してみます。
本誌を手に取った皆様も、ぜひこれを機に、地域づくりコーディネーターを目指してみませんか。

これまでのおさらい

初回であるＳＴＥＰ１では、鎌ケ谷市市民活動推進センターのプロジェクトマネージャーである影山さんから「コーディネーターの必要性と役割」について、ＳＴＥＰ２では、一般社団法人コレカラ・サポートの千葉さんから「居場所づくり」をテーマに、プロジェクトを始めるにはどうしたら良いのか、「はじめの一歩」を踏み出す方法について学びました。

※　ＳＴＥＰ１及び２の内容を詳しく知りたい方はこちら↓
http://www.collabo-kamagaya.jp/_files/00000505/centerdayori_035.pdf

ＱＲコードはこちら→

STEP 3 & STEP 4

テーマ	「伝家の宝刀　ファシリテーションを会得しよう」
講　師	（特非）国際ファシリテーション協会　専務理事　椿景子氏
実施日	STEP３　平成２７年１２月　６日（日） STEP４　平成２７年１２月２０日（日）

事務局からひとこと

ＳＴＥＰ３及び４では、特定非営利活動法人国際ファシリテーション協会で専務理事を務める椿さんを講師に招き、コーディネーターとして絶対に必要となるスキル「ファシリテーション」について学びました。
椿さんの講義はとにかくアツい！
身振り手振りを交えながら、熱心に、かつ丁寧に伝えるその姿に、受講者の方々はもちろん、事務局もいつしか引き込まれてしまいました。
そんな椿さんから教えていただいた「ファシリテーション」のポイントを右にまとめてみましたので、興味のある方は是非ご覧ください！
コーディネーターのみならず、企業や団体の会議などでも重宝しますよ～。

講義の様子

（特非）国際ファシリテーション協会
専務理事　椿景子氏

椿さんについてもっと知りたい方はこちら
→　http://gnf.jp/

ＱＲコードはこちら→

Point!

講座の内容を
少しだけご紹介

★ファシリテーションとは
チームの力を引き出すスキルのこと。打合せ等の場において他の参加者が満足する場を創ることを言い、ファシリテーションの役割を担う人を**「ファシリテーター」**と言います。
「ファシリテーター」は、**中立の立場**で、**発言者が偏らないように配慮**するとともに、**異なる意見を歓迎**し、メンバー同士の**話合いを促し**て、**結論に導き**ます。

★**なぜ**ファシリテーションが必要なのか
発言者が自分の頭にあることを**全て表現できない**ことや、発言に対する受取手の**解釈が異なる**ことで起こる**ギャップを解消**するため。ファシリテーターが発言者に**質問や確認をする**ことで**他の参加者に翻訳**をし、打合せをスムーズに進めます。

★ファシリテーターとして**身に付けたいカ**
① **聞く力**　質問をして相手の話を聞きだし、相手が何を伝えたいのかを推察し、理解する能力。相手が話しやすいような雰囲気作りが重要です。
② **観察力**　５感をフルに使ってその場の雰囲気を読み取ります。
③ **巻込力**　序盤はファシリテーターが積極的に質問をし、参加者を打合せの流れに乗せ、流れが作られたら場を預け、見守ることが必要。
④ コミュニケーションの５原則＝**笑顔、目線、質問、相づち、うなずき**

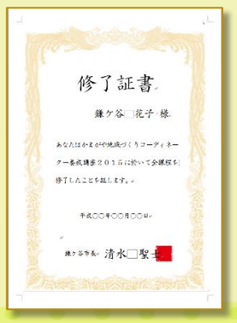
★打合せには**ルール**を設ける
打合せを始めたはいいけど、中々思うように進まないことありませんか。そんな時は打合せの冒頭にルールを決め、これを参加者に守ってもらうようにしましょう。
例）積極的に発言する　　途中の離退席はしない
　　他のメンバーの意見を聞く　　反対するときは代替案も提示する　　etc

受講者の声

すぐに使えるスキルを教えてくれました。

「やってよかった」感を持てるよう、会議を改善したい。

パワフルな講師に引っ張られて、あっという間の３時間でした。



講座に参加された方には、**修了証書**が贈られました！

STEP 5

テーマ	「今こそ“覚悟”を決めるとき！ ～コーディネーターに必要な最後のエッセンス～」
講　師	鎌ケ谷市市民活動推進センター　プロジェクトマネージャー　影山貴大氏
実施日	平成２８年　１月１７日（日）

最終回であるＳＴＥＰ５では鎌ケ谷市市民活動推進センターのプロジェクトマネージャーである影山さんにコーディネーターとして活動する“覚悟”を学びました。

受講者は、それぞれ興味のある分野ごとにグループを作り、順番にコーディネーター役を担いながら活動計画や活動に必要となる物資の洗出しなどに取り組みました。これまでにないほど難しい課題でしたが、受講者はこれまでの講座で学んだスキルを活かし、真剣に取り組んでいました。

そしてなんと、受講者自身の発案により、この時作ったグループが、講座終了後もそれぞれ各分野にわたって活動していくこととなりました。

２０１５年かまがや地域づくりコーディネーター養成講座　総評

鎌ケ谷市市民活動推進センター　プロジェクトマネージャー　影山貴大

今回の講座は、私がプロジェクトマネージャーとして着任してすぐに構成に取り掛かったものでした。まだ鎌ケ谷のことも把握しきれぬまま始まった講座でしたが、ＳＴＥＰ１を終えた時点で参加してくださった皆様の熱い思いに打たれ、鎌ケ谷の未来に非常に強い可能性を感じたことを鮮明に覚えています。それからの講座は参加者の皆様の熱意に合わせ、講師や担当課と随時打合せをしながらブラッシュアップしていきました。

最終回では、各々が興味関心のある分野で、コーディネーターとしての視点を持ちながらプロジェクトを進めるワークを行いました。講座終了後にも、そこから中間支援組織が立上がったり、チームで話し合いの場を継続的に持ち続けている修了生の方たちもいます。たった５回の講座ではありますが、そこから何かを得て自ら動かれた方々がいらっしゃるのは、私としては本当に嬉しい限りでした。この鎌ケ谷が魅力あふれる、素晴らしいまちになっていくかどうかは、私を含め今鎌ケ谷に関わっている人一人ひとりに委ねられているといっても過言ではないでしょう。一人でも多くの方が、鎌ケ谷に愛着を持ち、自ら地域社会に関わっていける流れを作るために、私もプロジェクトマネージャーとして邁進してまいります。

今年度は講座企画に都内の特定非営利活動法人を交え、よりブラッシュアップした地域づくりコーディネーター養成講座を展開する予定です。鎌ケ谷を良くしたい、地域に関わってみたいと少しでも思われる方は、ぜひ今年度の講座に足を運んでみてください。皆様にとって、きっと大きな気づきを得られる機会になるはずです。

小さな力も
集まれば大きく！

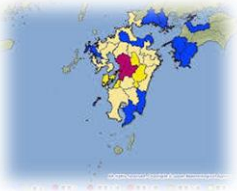
鎌ケ谷市市民提案協働モデル事業報告

「鎌ケ谷市市民提案協働モデル事業」とは、市民公益活動団体の優れた提案を市の事業に取り入れ、団体と行政のそれぞれの強みを活かして役割を分担し、市民との協働により地域の課題を解決しようとするものです。

今回特集する事業は、「街歩きを通じた、地域防災啓発活動」という事業です。この事業は、「街歩きをしながら実際に防災上のポイントとなる場所を確認することで、住民一人ひとりが災害時の行動や災害への備えについて考えるきっかけを作る」というもので、日頃から市民目線で防災に取り組んでいる市民公益活動団体「鎌ケ谷災害救援ボランティアネットワーク」からの提案を受け、市の安全対策課との協働により実施することになりました。また、この事業には、まち歩きを通した鎌ケ谷市の魅力の再発見・ボランティアの仲間作り活動をしている「ぶらり鎌ケ谷」がコース選定や街歩きの仕方などで協力しており、それぞれの得意分野を持った２つの団体と行政の３者の協働により展開されている点で特徴的であり、まさに「モデル」と言える事業です。

事業実施が決定した後、３者が集まって定期的に会議を行い、事業の実施に向けて準備をしました。会議の場では、お互いが対等な関係であることを意識しつつ自由闊達な意見が交わされ、また、みんなで一緒にコースの下見をするなど、和気あいあいとした雰囲気でした。

コラム　熊本地震をとおして



鎌ケ谷市市民活動推進センター　プロジェクトマネージャー　影山貴大

「罰が当たったのかもしれません」その言葉を聞いて私は何も言い返せませんでした。

４月に発生した「平成２８年熊本地震」の現地調査に向かった先での言葉でした。“当事者意識”という言葉を耳にすることが多くなりましたが、これがなかなかに難しい。

“自分がそういう状態になるかもしれない”感覚を常に持たなければならないといわれても、イメージも沸きづらいし、何よりも実感がないので強い意志を持つことがなかなかできない。

冒頭の言葉の裏には、“阪神・淡路大震災や東日本大震災を経ていても、これを自分事として捉えられず、当時は主体的に動こうという感覚も生まれなかった。あの時に他人事として捉えてしまった罰があたったのだ”という思いがあったようです。

我々は生きていく中で、起きてしまってから何かに気づくことが圧倒的に多いのでしょう。きっと冒頭の言葉をおっしゃられた方も、今回の震災を経て大きな変化を迎えたのかもしれません。ですが、もし“起きてしまってからでは手遅れ”な事態の場合はどうなるのでしょう？今日本は多くの社会課題が噴出してきています。それに加えて予見される自然災害。これらが同時に押し寄せてきているのです。当事者意識を持ってから動くのか、当事者意識を持つために動くのか、今こそ私たちは“人間”としての在り方を問われているのかもしれません。

当センターからのお知らせ　～かまがや市民活動フェスタ２０１６（仮）の日程～

市内の市民活動団体にご協力をいただき、例年１１月末に開催しているかまがや市民活動フェスタですが、今年度は**平成２９年１月２８日（土）**に開催する予定となりました。

今年度も実行委員の皆様を中心に楽しい企画を考えておりますので、ご期待ください。

詳細が決まりましたら、広報かまがや、市のホームページ、チラシ等でお知らせいたします。

鎌ケ谷市市民活動推進センター（〒273-0101 鎌ケ谷市富岡1-1-3　ショッピングプラザ鎌ケ谷　3 階）
ＴＥＬ／047-401-0891　ＦＡＸ／047-401-0892　Web／http://www.collabo-kamagaya.jp/　Email／sikatu@city.kamagaya.chiba.jp